

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成28年4月1日～ 令和2年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉市花見川区畑コミュニティセンター
条例上の設置目的	千葉市コミュニティセンター設置管理条例 (設置) 第1条 本市は、市民のコミュニティ活動のための施設として、次のとおりコミュニティセンターを設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	コミュニティ活動を促進し、市民の連帯感を醸成することで、市民主体の住みよいまちづくりを推進すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	・コミュニティ活動の場を低廉な料金で安定的に供給すること。 ・地域の特性を踏まえ、コミュニティ活動の契機となる事業を企画・実施すること。 ・コミュニティ活動を行う上で必要とされる情報発信の場となること。
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、市民サービスの向上を図り、さらに多くの市民に利用していただくという効果を見込んでいる。 したがって、市としては、指定管理者が民間事業者としてのノウハウを活用した質の高いサービスを提供するとともに、魅力的な事業の企画や効果的な広報活動を実施することなどにより、施設の利用が促進されることを期待している。
指定管理者名	株式会社京葉美装
構成団体 (共同事業者の場合)	
指定期間	平成28年(2016年)4月1日～令和3年(2021年)3月31日(5年)
所管課	花見川区役所地域振興課

2 成果指標等の推移

(1) 施設稼働率(諸室) (成果指標1)

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	平均
実績値	21.5%	24.2%	27.9%	30.5%	26.0%
数値目標※	21.2% (23.8%)	21.9% (23.8%)	22.6% (23.8%)	23.3% (23.8%)	22.3% (23.8%)
達成率	101.4% (90.3%)	110.5% (101.7%)	123.5% (117.2%)	130.9% (128.2%)	116.6% (109.3%)

(2) 施設利用者数(体育館) (成果指標2)

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	平均
実績値	16,279人	14,867人	14,582人	15,204人	15,233人
数値目標※	12,800人 (15,000人)	13,350人 (15,000人)	13,900人 (15,000人)	14,450人 (15,000人)	13,625人 (15,000人)
達成率	127.2% (108.5%)	111.4% (99.1%)	104.9% (97.2%)	105.2% (101.4%)	112.2% (101.6%)

(3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	平均
施設利用者数(諸室)	29,217人	29,091人	29,574人	30,200人	29,521人

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

			H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	48,706	50,466	46,748	45,921	191,841
			計画	48,706	50,466	46,748	45,851	191,771
			提案	48,814	47,917	47,776	47,638	192,145
		利用料金	実績	3,782	3,812	3,928	3,933	15,455
			計画	3,522	3,817	3,942	4,067	15,348
		その他	実績	0	0	0	56	56
	計画		50	50	50	50	200	
	合計	実績	52,488	54,278	50,676	49,910	207,352	
		計画	52,278	54,333	50,740	49,968	207,319	
	支出	実績	50,075	53,963	48,464	48,129	200,631	
計画		52,278	54,333	50,740	49,508	206,859		
収支		実績	2,413	315	2,212	1,781	6,721	
自主事業	収入	実績	212	419	420	292	1,343	
		計画	1,026	1,026	1,026	1,026	4,104	
	支出	実績	506	791	791	643	2,731	
		計画	1,026	1,026	1,026	1,026	4,104	
	収支		実績	△ 294	△ 372	△ 371	△ 351	△ 1,388
総収入		実績	52,700	54,697	51,096	50,202	208,695	
総支出		実績	50,581	54,754	49,255	48,772	203,362	
総収支		実績	2,119	△ 57	1,841	1,430	5,333	
利益の還元額		実績	なし	なし	なし	なし		
利益還元の内容								

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	C	・諸室稼働率、体育館利用者数共に、評価対象期間の平均達成率は100%を超えている。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	・市の指定管理料支出は、太陽光パネルの設置費用を前倒しで支出したH29年度に実績額が提案額を大幅に上回ったが、評価期間通算では実績額が提案額を下回った(△304千円、△0.2%)。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	・事業計画どおり、太陽光パネルの設置及び施設内の全ての照明をLED化。光熱水費及びCO2排出の削減を実現した。 ・R元年の台風19号接近に備え避難所を開設。避難所としての役割も果たした。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	B	・事業計画どおり、毎年多様な研修を開催し、従業員の能力向上を図っている。 ・アンケート結果からも職員の接遇に対する好評価を確認でき、研修の成果が発揮されている。
(2) 施設の維持管理業務	C	・日常清掃に注力。所長・副所長の巡回確認の他、本社職員が週1回勤務し、清掃状況を確認。 ・H29に防犯カメラを設置し、犯罪の未然防止に寄与。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	・事業計画どおり、地元マスコミの協力による広報活動を展開。H30よりJ:COMデイリーニュース枠でのコミュニティセンター通信を開始。 ・Facebook、TwitterなどSNSを活用した広報も積極的に実施している。 ・地域の町内自治会と良好な関係を築いており、自主事業のチラシを自治会内で回覧してもらい、利用を促進している。
(2) 利用者サービスの充実	B	・畑文庫、血圧計は、提案を上回る箇所に設置。 ・ごみの分別方法が誤解されがちなものの展示やごみの出し方ガイドブック外国版を配架。展示するごみにも工夫が見られる。 ・カラオケ機器、スポットクーラー、ピアノ等、利用者のニーズに対応した備品の購入を毎年実施。
(3) 施設における事業の実施	C	・受託事業は、概ね事業計画どおりの実績・成果が認められた。 ・畑町防災会との共催による防災訓練、社協との共催による子育てサロン、幼児サロン、シニアリーダー体操など、公共性・公益性がある事業を実施した。 ・自主事業「そば打ち教室」はサークル化に発展した。
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	・修繕、備品購入等は市内業者を優先している。 ・前指定管理者からの継続雇用も多く、雇用は安定。

総合評価	C
------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
 D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
 E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率は、H26年度の20.8%と比較して3%増の23.8%を最終年度の数値目標として設定したが、H28を除き達成している。 ・体育館の利用者数は、H26年度を基準に毎年1.5%の伸び率で算定した、15,000人を最終年度の数値目標として設定したが、97%以上の達成率である。 ・自主事業収入実績は、新型コロナウイルスの影響があったR元年度を除き、毎年増収している。 ・提案どおり太陽光パネルを設置し、施設の光熱水費及びCO2削減に寄与。太陽光パネルはH30.3に引き渡しを受けた。 ・総収支が黒字化した年度もあったが、利益の還元を受けられるほどの剰余金はなかった。
--

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

特になし

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営状況に問題はないことから、指定管理者制度の継続が望ましいと判断される。 ・利益還元ができるよう工夫を図られたい。
--